

メディアガイド

2008/1/15

(特)日本障害者スキー連盟

大会本部

- ◇ 大会本部および、メディアセンターは、「白馬八方尾根文化会館」に設置します。プレス受付デスクを設置しますので、受付を必ずませIDカードを受け取ってください。
- ◇ 競技開始前日の 2008年2月20日16時、2月22日16時に開催しますプレス説明会に出席された方は、その場でも受付を行います。
- ◇ 大会スケジュールの変更などがありましたら、大会本部、および、ゴール前の公式掲示板に掲示します。公式記録は、表彰式終了後、大会本部で配布を予定してします。
- ◇ 2本目のスタートリストは、用意が整い次第、フィニッシュエリア付近にて配布します。また、リストを持った大会役員がコース上を降りていきますので、必要のある方は受け取ってください。

撮影にあたって

- (1) IDカードを所有していない方は、観客席を除き、会場内での撮影はできません。
- (2) 撮影場所については、大会本部に設置する「メディア受付」デスクにて、お知らせいたします。大会本部並びに審判員控え室内の撮影はご遠慮ください。
- (3) リフト乗車にはICチップが必要です。受付時に1000円の保証金をいただきます。下りの乗車は国際第一リフトのみ可能です。
- (4) コース内に入って撮影を行いたい方は、事前に申請をしてください。主催者が認めた方に取材用ビブ(ゼッケン)をお渡しします。ビブを着用していない方はコース内に入っての撮影はできません。
- (5) コース内に入る方はスキー靴、スキーの装着を推奨します。徒歩の場合は、ネット脇のみ歩行できます。コースを横切ることは厳禁です。
- (6) コース内に入る方は、コースインスペクション開始15分前までに撮影のポイントについてください。コースインスペクション開始までに競技役員の指示を受け、撮影ポイントを確定していただきます。競技終了まで、移動することはできません。また、競技役員が安全上問題があると判断した場合は、撮影ポイントを変更していただくことがあります。コース内では、すべて競技役員の指示に従ってください。
- (7) コース内では三脚の使用はできません。TVなど三脚を使用する場合は、ネットの外から撮影をお願いします。
- (8) コース外であっても時間内にポジションについて下さい。競技中はGネット外側のみ歩行可能です。

- (9) ネット破損の場合は保障をしていただきます。
- (10) 撮影は、競技者、競技役員並びに審判員が視認できるところにIDカードを身につけ行なってください。
- (11) 競技区域外であっても、競技運営に支障をきたす場合があります(例 大会・競技役員、選手・スタッフ等の視界を妨げる場所、競技者の招集・誘導を妨げる場所など)。撮影の際には、ご注意ください。また、移動をお願いすることもありますので、あらかじめご了承ください。

インタビューにあたって

- (1) IDカードは、競技者、競技役員並びに審判員が視認できるところに身につけてインタビューを行なってください。
- (2) 競技を終えた競技者は、フィニッシュライン後方にある通用口から退場し、解散いたします。報道目的のインタビュー等、競技直後のコメントが不可欠なケースも考えられますが、競技直後の競技者へのインタビューは、ゴール付近に設ける「ミックスゾーン」でお願いします。ただし、ミックスゾーンにおける長時間に渡るインタビューは、競技者のコンディショニング管理上、支障をきたす恐れがありますので、できるだけ短時間にインタビューを完了してください。着替えや車いすの乗り換え後に、改めてインタビューを行うことについては、競技者の同意があれば、これを制限するものではありません。
- (3) 「ミックスゾーン」以外での競技者に対するインタビューは、競技運営に支障をきたさない場所で、競技者のコンディションに配慮して行ってください。
※ 特定の競技者に対する取材申込みが多数発生した場合には、主催者の判断により共同記者会見を行う場合があります。ただし、競技会場には記者会見を行う施設がありませんので、会見場所ならびに会見時間等については、主催者および競技者またはその代理人、および取材希望者との話し合いにより、現地で決定いたします。

競技記録

- ・競技の速報は、ゴール付近の掲示板に掲示します。
- ・印刷された公式記録を希望されるメディアの方(IDカード所有者)には、各競技終了後に公式リザルトを大会本部(白馬八方尾根文化会館)にてお渡しする予定です。
- ・ただし、運営上の都合により、お渡しするのに時間がかかる場合もありますので、予めご了承ください。

作品の公表にあたって

- ◇ 報道目的で撮影された写真または映像を、番組、紙面等で公表するにあたっては、主催者及び競技者に、使用に関する承認を受ける必要はありません。
- ◇ 国民への啓発を主な目的とする番組または書籍類、ホームページの制作を行う法人、またはその法人から委嘱を受けた方で、事前に日本障害者スキー連盟から承認を受けた方は、番組、紙面等で公表するにあたっては、主催者及び競技者に、使用に関する承認を受ける必要はありません。
 - 紙媒体については、作品完成後、主催者に見本誌を3部お送りください。
- ◇ 取材対象者を限定したスポーツ番組または雑誌等の制作を行う法人、またはその法人から委嘱を受けた方で、事前に日本障害者スキー連盟並びに取材対象者から許可を受けた方は、番組、紙面等で公表するにあたっては、主催者及び競技者に、使用に関する承認を受ける必要はありません。
 - 紙媒体については、作品完成後、主催者に見本誌を3部お送りください。
 - テレビ放送については、放送日を事前にお知らせいただき、あわせて放送内容を収録した DVD 等を後日お送りください。
- ◇ その他、事前に日本障害者スキー連盟から撮影許可を受けた方は、撮影した写真を使用する企画がまとまった時点で、日本障害者スキー連盟ならびに被取材者の公表許可を得てください。無断の商用使用はできません。
 - ただし、公表された写真または映像を二次使用する場合、または保存された未公表の素材を新たに使用する場合は、主催者および被取材者への使用許可申請を行なってください。

禁止事項

- (1) 障害者のスポーツや競技者(競技役員)自身のイメージを傷つけられる映像・スチール撮影、またはインタビュー。
 - (2) 本メディアガイドが定める内容に反する行為。
 - (3) 取材申込内容から逸脱した取材活動。
- これらの禁止事項を犯した場合は、主催者の判断により取材活動の中止を勧告するとともに、作品公表の承認を取り消します。

その他

- (1) IDカード、ビブは、取材終了後、メディア受付に返却してください(大会期間連続して取材を行う方は、2/26の取材終了後とします)。



ヤマハ発動機-IPC障害者アルペンスキーワールドカップ2008ファイナル白馬大会
YAMAHA MOTOR 2008 IPC ALPINE SKIING WORLD CUP FINALS HAKUBA

- (2) 撮影機材の管理は各社の責任で行なってください。
- (3) バッテリー類を充電するための電源は、主催者側で確保していませんのでご了承ください。
- (4) 一般ゴミ以外で不要になった消耗品は、各社でお持ち帰りください。
- (5) 喫煙は、施設内に設置された所定の場所をお願いします。
- (6) その他、競技期間中に不明な点が発生した場合は、大会本部に設置する「メディア受付」デスクにお尋ねください。